

建設の機械化

2002.4

No. 626



JCMA

目次



◆巻頭言 新世紀を拓く港湾の技術……………小 谷 拓	1
トンネル掘削における発破振動の自動計測と管理 ……………岡村浩孝・陰野 浩・中村 進	3
高所ボーリングマシンによる基礎処理工事の合理化 ……………秋田真良・谷田部好信・上山廣美・島田保之	9
高耐力マイクロパイル工法を用いた既設橋脚の耐震補強 ……………守田正一・寄野芳紀・杉内茂美	15
上向きシールド工法の開発と実証施工—地上での立坑工事期間の軽減— ……………伊東 憲・栄 毅・熾 熾	21
6トンクラス油圧ショベルの省エネルギー効果評価モード ……………小見山昌之・絹川秀樹・田中恒次郎	28
CNGエンジン搭載ホイールローダの開発…橋口和文・高野光司	38
工事用信号車の開発—もらい事故防止対策技術— ……………相良幸雄・藤田全彦	42
掘削土再利用連壁工法 —RC連壁施工技術を応用した超深度対応可能な掘削土再利用連壁— ……………織田 茂・遠藤堅一・弘瀬友一朗	46
◆ずいそう 年老いた母を引取って……………長澤 潔	34
◆ずいそう ウォセクリータのこと……………武山正人	36
除雪機械展示・実演会（札幌）見聞記—2002ふゆトピア・フェア— ……………尾村光史	53

グラビア—除雪機械展示・実演会（札幌）
—2002ふゆトピア・フェア— 57

◆新工法紹介 03-149 溶接条件自動管理装置（清水建設）/04-239 切羽前方探査3次元システム（TSP 203システム）（佐藤工業）/05-50 遮水機能検査システム「s-Can light」（西松建設、基礎地盤コンサルタンツ）/06-14 2層同時舗設工法（DLペープ）（日本舗道）/08-35 斜面对応型捨石均し工法（若築建設） ……………調査部会	62
◆新機種紹介……………調査部会	67
◆統計 建設工事受注額・建設機械受注額の推移（2002年1月） ……………調査部会	72
行事一覧（2002年2月）……………	73
編集後記……………（高野・緒方）	76

◇表紙写真説明◇

自走式土質改良機 SR-P 600
日立建機株式会社

例制御方式により設定添加率の固化材を供給します。
・伸縮式固化材ホッパを採用、トレーラによる一体輸送が可能です。

<p>■概要</p> <p>SR-P 600 は、建設発生土などに固化材を混合することにより、再利用可能な改良土を低コストで製造できる土質改良機です。</p> <p>■主な特長</p> <ul style="list-style-type: none"> 混合効率の高い2軸パドルミキサを採用、高粘性土から砂質系まで幅広い原料土を目的の土質に改良します。 スケールコンベヤにより改良土の質量を直接計測、比 	<p>■主な仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> 運 転 質 量：11,800 kg 輸 送 時 全 長：9,130 mm 輸 送 時 全 幅：2,490 mm 輸 送 時 全 高：2,720 mm エンジン型式：いすゞ A-4 BG 1 T 定 格 出 力：63/2,100 kW/min⁻¹ 処 理 量：最大 60 t/h 土砂ホッパ容量：0.9 m³ 固化材ホッパ容量：2.5 m³
--	---